

●小委員会の設置について

○ 牧野管理小委員会	
検討事項：牧野の管理と利用の継続による草原環境の維持に関する実施計画とその実施状況等	
発議者／事務局	財団法人阿蘇グリーンストック
小委員会の内容	<p>野焼き・輪地切りボランティアなどの様々な主体による支援や輪地切り省力化事業による野草地保全の取り組みなど、牧野組合等の地元組織により継続されてきた草原維持を続けるための仕組みづくりについて議論を行う。</p> <p>牧野組合等の地元組織主体による草原維持の仕組みづくりと様々な主体の協力により、大きな面積を占める牧野組合等の管理する草原の保全につなげることを目指す。</p>
○ 生物多様性小委員会	
検討事項：生物多様性保全上重要な草原の保全・再生に関する実施計画とその実施状況等	
発議者／事務局	環境省九州地方環境事務所
小委員会の内容	<p>湿地をはじめとする特に希少な動植物が生育・生息する場所の草原環境の再生や維持管理などについて議論を行う。</p> <p>阿蘇の希少な動植物の保全を図り、阿蘇特有の貴重な生物多様性の保全につなげることを目指す。</p>
○ 草原環境学習小委員会	
検討事項：草原環境学習の推進と草原環境の認識の向上に関する実施計画とその実施状況等	
発議者／事務局	環境省九州地方環境事務所
小委員会の内容	<p>阿蘇内外の人たちに対する草原環境学習及び阿蘇の草原環境の認識を向上させるための手法などについて議論を行う。</p> <p>阿蘇内外の人々の草原環境の認識を向上させることにより、草原環境保全への参画を促すとともに、農畜産業など草原環境保全の後継者の確保につなげることを目指す。</p>
○ 野草資源小委員会	
検討事項：野草地採草の作業の継続・促進と野草資源の利用・流通に関する実施計画とその実施状況等	
発議者／事務局	NPO 法人九州バイオマスフォーラム
小委員会の内容	<p>持続可能な社会の形成の観点から、野草資源の有効活用について議論を行う。野草の有効活用のためには、採草・集草作業の効率化、運搬・保管方法の検討、作業の担い手の育成、流通システムの構築、ブランド化・高付加価値製品の開発など、野草の利用が社会的・経済的に成り立つ仕組みをつくるのが大切である。</p> <p>野草資源の利用・流通が、採草地などの草原環境の維持・保全につながる仕組みを構築することを目指す。</p>